

(お知らせ)

中国海軍艦艇の動向について

12月1日(木)午後3時頃、海上自衛隊第5航空群「P-3C」(那覇)が、宮古島の北東約110kmの海域を太平洋から東シナ海に向けて北西進する中国海軍フーテン級補給艦1隻を確認した。

同日午後9時頃、海上自衛隊第8護衛隊所属「さざなみ」(呉)及び「きりしま」(横須賀)が、宮古島の北東約110kmの海域を太平洋から東シナ海に向けて北西進する中国海軍ルフ級ミサイル駆逐艦1隻、ジャンカイ級フリゲート1隻、ジャンウェイ級フリゲート1隻及びブルジョウ級ミサイル駆逐艦1隻の合計4隻を確認した。

なお、これらの艦艇は、11月22日(火)から23日(水)にかけて、宮古島の北東約100kmの海域を東シナ海から太平洋に向けて南東進し、その後、沖ノ鳥島南西約900kmの海域において艦載ヘリコプターの飛行等の訓練及び洋上補給を行っていたことが確認されている。

フーチン級補給艦(881)



ルフ級ミサイル駆逐艦 (113)



ジャンカイⅡ級フリゲート(538)



ジャンウェイⅡ級フリゲート(527)



ルージュウ級ミサイル駆逐艦(116)



洋上補給



艦載ヘリコプターの飛行

